日装連新聞

12月号 2024/令和6年 No.571

発行所
日本室内装飾事業協同組合連合会
Japan Interior Decoration Association (JIDA)
〒105-0013
東京都港区浜松町2-6-2 浜松町262ビル2階
Tel(03)3431-2775　Fax(03)3431-4667
月刊●毎月15日発行●講読料　年間2,400円　1部200円

日装連理事・全国組合理事長会

日ID社内検定試験の実施状況発表

法定福利費の別枠計上に取り組む姿勢示す

日装連は、さる11月19日、東京ベイ有明ワシントンホテル3階アイリスB・Cにて「日装連理事・全国組合理事長会」を開催した。

「日装連理事・全国組合理事長会」は、通常総会から約半年を経過した中で中間決算報告、および各事業のうち重要事項の進捗を発表する場として毎年開催している。

まず日装連報告として中間決算報告に続き日ID社内検定試験の実施状況、ベトナム研修コースの実施状況について報告された。

日ID社内検定試験は、令和6年3月19日付けにて厚生労働大臣が認める「社内検定認定資格」に正式に認定されたことを受けて、今年度に第1回目の試験を実施した。日ID・教育資格委員会の大石伸二担当副理事長は、10月17日に全国19会場で行われた学科試験の模様や11月25日～30日の期間に各ブロックで開催予定の実技試験の受験者数など実施概要を報告した。

ベトナム研修コースの報告では、同事業を担当する椎津雅夫副理事長が令和5年度から計6回にわたって実施した研修の実施概要を説明した。また現地の短大協会と協力覚書を締結したことで受講生の増加が見込めること、一方で日本語N4検定の合格率が低いため試験対策講座を実施すること、研修効果を上げるためAIによる教育システムを導入するなど体制を整備することで2025年度中の本格運用を目指すとの見通しも示した。

日装連報告に続いて、日装連の今後の方針として法定福利費の別枠計上の現状と課題について宮本外次理事長が説明した。法定福利費の別枠計上に関しては宮本理事長としての優先課題として取り組む姿勢を打ち出した。

この他、日リ協からの発表として渡邊事業本部長よりユーザーへの信頼性アップ、豊富な情報発信など日リ協に加盟することのメリットなどが紹介された。

続いてアイリスAに会場を移して国土交通省不動産・建設経済局建設振興課の城麻実課長による講演会「建設業の課題と国土交通省の取組」を行った（要旨は次項参照）。

講演会終了後は、再び会場をアイリスB・Cに移し来賓、業界・メーカー関係者を招き懇親会を執り行った。

懇親会では、宮本理事長が感謝の言葉を述べた後、来賓の方々から挨拶を頂戴した（ご挨拶、乾杯、中締めをいただいた方々は左写真のとおり）。

日装連理事・全国組合理事長会の模様

講演会

技能検定

化粧フィルム工事作業

全国で1級47名、2級12名が合格

2024年度技能検定「化粧フィルム工事作業」が全国都道府県で行われ、新たに1級技能士47名、2級技能士12名が誕生した。

同検定は、日装連からの提言で2018年からスタートした技能検定である。

6回目となる今回は、実技試験を6月6日～9月8日の間、学科試験を8月25日に実施、さる10月4日に合格発表が行われた。

受験者数は1級96名（前回127名）、2級24名（前回34名）で、そのうち合格者は1級47名（合格率49・0％）、2級12名（合格率50・0％）であった。

なお都道府県別の詳細は、QRコードにて確認できる。

懇親会

ご挨拶

厚生労働省　人材開発統括官付
能力評価担当参事官室主任職業能力検定官
増岡宗一郎 氏

経済産業省
製造産業局生活製品課住宅産業室室長
潮崎雄治 氏

国土交通省
不動産・建設経済局大臣官房審議官
蒔苗浩司 氏

株式会社川島織物セルコン
代表取締役社長
光岡 朗 氏

公益財団法人日本防炎協会
理事長
安藤俊雄 氏

一般社団法人日本壁装協会
理事長
柏瀬功次 氏

一般財団法人建設業振興基金
理事長
谷脇 暁 氏

主なニュース

2面　日装連理事・全国組合理事長会 講演会（要旨）
3面　日ID社内検定試験・実技試験実施 令和6年度 防炎関係者表彰
4面　全国青年部・次世代 代表者会議 日リ協コラム㊼
5面　談話室 和歌山組合青年部部長
8面　最前線探訪93 福岡県室内装飾事業協同組合

窓辺をかえる、明日がかわる。
TOSO

バーチカルブラインド　レース付タイプ
「デュアルツイン」登場
NEW 2024年12月

レース付きだから、外からの視線を遮り安心
ちょい開けバトンでちょっと“家事ラク”

詳細はこちら

全国組合理事長会講演会（要旨）

国土交通省
不動産・建設経済局 建設振興課

城　麻実　課長

建設業の課題と国土交通省の取組

本日は建設業界の主な動向として第三次・担い手3法の施行、必要経費の行き渡り等についてお話しさせていただきます。皆様との連携なくしては実現できない取組となっています。ぜひご理解の程よろしくお願いします。

■建設業界の現状

まずは建設業の現状ですが、建設投資額は平成4年度をピークに落ち込んできましたが、その後増加に転じ、令和6年度は約73兆円となる見通しです。

一方で建設業就業者数を見ると平成22年と比べても減少しており、全産業に占める割合はかなり低下している状態です。特に、技能者の年齢構成を見ると、60歳以上が約4分の1を占めており、10年後を見据えた場合、将来の担い手確保が大きな課題となっています。担い手確保のためには処遇改善が極めて重要です。

この点、賃金の推移をみてみると、着実に上ってきていますが全産業と比較するとまだ低い水準です。また働き方の現状については年間出勤日数、年間実労働時間ともに着実に改善しているもののこちらも全産業と比べてまだ多いのが実情です。若者入職促進にも重要な休日の取得状況ですが、技術者・技能者ともに4週8休の確保ができていないケースが多くなっています。

■第三次・担い手3法

第三次・担い手3法は、議員立法の「公共工事品質確保法等の改正」と政府提出の「建設業法・公共工事入札適正化法の改正」で構成され、地域の守り手である建設業がその役割を果たし続けられるよう、「担い手確保」「生産性向上」「地域における対応力強化」を目的としています。「担い手確保」の柱では、「処遇改善」、「価格転嫁（労務費へのしわ寄せ防止）」、「働き方改革・環境整備」に取り組むこととしています。

「処遇改善」については労働者の処遇確保を建設業者に努力義務として課すとともに、適正な労務費が下請、最終的には技能者の賃金として行き渡るように、中央建設業審議会が「労務費の基準」を作成・勧告するという仕組みを新たに導入すること、また著しく低い労務費等による受注者の見積り提出や注文者による見積り変更依頼の禁止、原価割れ契約の禁止を受注者にも導入するといった仕組みとしています。

「価格転嫁（資材高騰に伴う労務費へのしわ寄せ防止）」では、契約前のルールとして、請負代金等の変更方法を契約書の法定記載事項として明確化するとともに、資材高騰など請負額に影響を及ぼす可能性のあるリスク情報を受注者から注文者に通知する義務を規定します。さらに契約後のルールとして、資材高騰等が顕在化した際には、受注者が契約変更を協議でき、発注者に対しては、誠実に応じる努力義務（公共発注者は義務）を定めております。

なお、契約変更条項がないケースが約6割に上るというデータがあります。こうしたことも背景に、あらかじめ請負代金の変更方法を明確化しておくことを定めたところです。

「働き方改革・環境整備」では、長時間労働抑制のための工期ダンピングの対策強化として、発注者のみならず、新たに受注者にも著しく短い工期による契約締結を禁止するとともに、工期変更の協議円滑化について定めています。

「生産性向上」については、現場技術者の専任義務の合理化やＩＣＴを活用した現場管理の効率化などを規定しています。

■労務費の基準、賃金引上げに向けた取組

中長期的に担い手を確保し、建設工事の適正な施工を確保するためには、その労働環境に見合った賃金の引上げといった処遇改善が必要です。そのため請負契約において適正な労務費を確保し、技能者に行渡らせるための新たなルールが必要であるという問題意識のもと、「適正な労務費の基準」の作成等の新たなルールを規定しました。これは公共工事・民間工事に関わらず、受発注者間、元請・下請間、下請間のすべての段階で適正な水準の労務費が確保され、技能労働者の賃金として行き渡ることを目的としています。

具体的には、中央建設業審議会が「適正な労務費の基準」を作成し、これを著しく下回る見積り・契約締結を禁止するなどとしています。

では、著しく低い労務費をどのように判断するかということですが、「労務費の基準」を今まさに作成しているところですが、具体的な数値を示してしまうと、それが独り歩きしてしまう恐れもありますから数値を示すことは考えていません。どういった場合に違反が疑われるのか事例集の形で周知することを検討しています。

また「労務費の基準」を作成するだけでなく、いかにして実効性を確保するのかが重要であり業界の皆様のご意見も聞きながらしっかりと検討していきます。

■「労務費の基準」に関するワーキンググループを設置

現在、「労務費の基準」に関するワーキンググループを中央建設業審議会の下に設置し、学識者、受注者、発注者などそれぞれの立場の方々をメンバーに迎えて議論しているところです。

主な論点は「労務費の基準」の作成と実効性の確保です。作成については、基準の計算方法、作成単位、基準の改定頻度といった論点が挙げられます。また、重要なのは作成した基準の実効性をどう確保するのかであり、論点としては、入札時・契約時の実効性確保、労務費・賃金の行き渡り確保、行政による検証といった点が論点です。

次に「労務費の基準」に関する基本方針を説明します。同基準の目的として、契約当事者間の価格交渉時の相場感として機能し、行政が指導監督する際の参考指標として活用され機能されることとしています。

「労務費の基準」の活用・運用については、労務費の基準を相場感とした見積り、契約による適切な労務費の確保、確保された労務費が下請業者まで行き渡り、技能者に賃金として支払われる仕組みづくり、これらのルールの行政による検証など総合的な取組を行っていくこととしています。加えて中小企業者や一人親方であっても使いやすい仕様で作成すること、いったん基準を公表した後でも必要に応じて修正を加えるアジャイル型の考えに則って進めることとしています。

さらに、全ての職種を同時に議論するのではなく職種別に順次進めていく方針で、まずは比較的労務段階が明確な鉄筋と型枠、さらに一人親方の多さや発注者の多くが個人という特殊性を踏まえて住宅分野の関係職種への検討をスタートすることとしています。

■各業界団体と検討を進めていきたいこと

今後、順次、職種別意見交換を行いたいと考えています。

職種別意見交換は専門工事業団体（関連する業界団体が複数あれば複数団体同席の上で職種別に意見交換を行う）、元請団体、国土交通省がメンバーとして参画します。専門工事業団体、元請団体が一緒に意見交換することで関係者で認識を共有しながら議論を進めていきたいと思います。

意見交換の内容は、「労務費の基準」の素案の作成と実効性確保についてです。各職種固有の論点について取り上げながら議論していきます。

意見交換そのものは非公開で行いますが、その結果の要点は、労務費の基準ＷＧにフィードバックしていきます。

なお、「労務費の基準に係る職種別意見交換」に対するお問い合わせのメールアドレスも用意しています。私を含めて関係者がみられるようになっておりますので、ご質問・ご意見があればぜひお寄せください。

●労務費の基準に係る職種別意見交換
【問い合わせ先】
国土交通省 不動産・建設経済局 建設振興課
hqt-roumuteam2@gxb.mlit.go.jp

日装連の
キャラクターマーク

日本室内装飾事業協同組合連合会

2024年度 日装連インテリアデコレーター社内検定

実技試験に136名が受験

日装連・日ID・教育資格委員会（大石伸二担当副理事長・鈴木公和委員長）は、「2024年度 日装連インテリアデコレーター社内検定」の「実技試験」（1級・2級）を、全国8会場（各ブロック主催＝北海道・東北・関東・北信越・中部・近畿・中国・九州で開催）で実施した。

「日装連インテリアデコレーター社内検定」は今年3月19日に「厚労省社内検定認定制度」の認定を得た新資格で、今回が認定後初の試験実施となった。

さる10月17日には全国19会場で「学科試験」を実施、1級25名、2級17名が受験した。「実技試験」は前資格からの移行措置として「学科試験」が免除されていた日装連内装士資格者を中心に1級118名、2級18名の計136名が受験した。

「実技試験」は実践的な提案スキルを評価するもので、1級ではリビングルーム、2級では子供部屋に対するリフォーム計画がそれぞれ課題となり、そのコンセプトづくり、コンセプトに基づいたインテリアパースづくり、さらに試験場に準備された各種素材のサンプル帳を用いてプレゼンテーションボードを作成、さらに見積書、工程表を作成するという実際の提案作業に近い形で進行する（制限時間標準5時間、打ち切り5時間30分）。

なお合格者は12月25日に発表を予定している。

東北ブロック会場

関東ブロック会場

中国ブロック会場

九州ブロック会場

登録内装仕上工事基幹技能者講習

広島会場を開催

日装連、全室協、ジェイシフの内装3団体で運営する登録内装工事基幹技能者推進協議会は、「登録内装仕上工事基幹技能者講習」の広島会場を11月27日～29日に開催した。受講者は47名、うち日装連関連は9名。

また、12月5日に登録基幹技能者試験・講習委員会を開催し、広島会場の合否判定を行った。その結果、日装連関連では9名が合格した。

なお広島会場をもって今年度の「登録内装仕上工事基幹技能者講習」はすべて終了した。

日装連関連の合格者（敬称略）

組合	氏名	事業者名
しまね	三島　涼祐	㈲装栄
しまね	福島　健一	福島装建㈱
しまね	松尾　謙一	㈱ツルミ
広　島	室　　直昭	㈱日本パーカーライジング広島工場
広　島	平田　晶子	平田産業㈱
広　島	村上　和哉	㈲村上装飾
広　島	平賀　慶太	竹内装飾㈱
広　島	田浦　慶太	㈲インテリアタウラ
広　島	佐々木　健	㈱インテリアヒロ

令和6年度防災関係者表彰

日装連から5名受賞

左から日本防炎協会の安藤理事長、虫賀氏、対馬氏、名畑氏、東端氏

公益財団法人日本防炎協会（安藤俊雄理事長）は、11月21日、明治記念館にて令和6年度防災関係者表彰の表彰式を執り行った。

防災関係者表彰は、長年にわたり防炎品の品質確保、普及に尽力し地域社会の安心・安全確保に貢献してきた関係者を表彰するもの。

今年は虫賀友則氏（岐阜組合理事長）、対馬英雄氏（青森組合理事長）、名畑昭一氏（福島組合理事長）、東端憲三氏（和歌山組合理事長）、田中清隆氏（鹿児島組合理事長・表彰式は欠席）が表彰された。

日装連行事

12月
- 20日　情報・流通委員会
- 25日　日装連インテリアデコレーター社内検定合格発表
- 27日　仕事納め

2025年1月
- 6日　仕事始め

6月
- 6日　常任理事会、理事会、第59回通常総会、講演会、懇親会

11月
- 18日　常任理事会、理事会、日装連理事・全国組合理事長会、講演会、懇親会
- 19～21日　JAPAN TEX2025

建設業の退職金制度　けんたいきょう

退職金を受け取れる可能性があります

条件1　過去に2年以上建設業界で働いていた

条件2　共済手帳がお手元にある、または持っていた
これが共済手帳です
ご遺族の方も対象です

条件3　建退共から退職金を受け取っていない

詳しい条件は こちらから ご確認 いただけます

全ての条件に当てはまる方は、けんたいきょうにお電話を

通話料無料 0120-867-186
※条件に当てはまっても受給できない場合がございます。
受付期間 令和6年12月2日(月)～令和7年1月31日(金) 9:00～17:00（土日・祝日・年末年始を除く）

独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1
TEL. 03-6731-2866
https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp
けんたいきょう 検索

全国青年部代表者会議

全国から青年部代表者34名が参加

全国ネットワークをより強化に

日装連青年部・次世代委員会（椎津雅夫担当副理事長・青山和之委員長）は、さる11月20日、東京ビッグサイト会議棟において、2024年度「全国青年部代表者会議」を実施、全国から青年部の代表者34名が集結した。

同会議は、全国の青年部の活動状況を共有することで、各県の青年部の活性化を図り、また全国青年部のネットワーク化を促進することを目的に毎年実施している会議である。

今回は第1部「北海道組合青年部会　高校出前授業実施へ向けた進捗状況報告」、第2部「九州ブロック会の活動と関心事」、第3部「青年部会の全国ネットワーク強化について」の3部構成で行った。

第1部は北海道組合の渡部氏（北海道組合次世代委員長）と広島組合の青山氏（日装連青年部・次世代委員長）によるディスカッション形式で進められた。

出前授業は内装業界の若手確保を目指した教育活動で、実際の作業を体験させることで職業への理解を深めることを目的としている。両者のディスカッションでは、現在北海道組合が進める事業内容を紹介しつつ、出前授業で多数の事例を持つ広島組合から学校との連携の必要性、そのアプローチ方法、予算確保と道具の準備など成功に向けたポイントが教示された。また実際に就職を促すためのインターンシップの必要性も語られた。

続く第2部は熊本組合の廣島氏（熊本組合青年部部長）が、九州ブロックで定期的に実施する「青年部連絡協議会」の活動内容を紹介した。九州ブロックでは各県の青年部が集まり、業界の悩みや課題を共有し、解決策を模索するための会議を行っている。近年は商品価格の値上げ問題、価格転嫁の具体策などを議論しているという。

このブロック活動について参加者が5班に分かれてグループミーティングを行った。

そして第3部では、青山委員長からネットワーク化の意義が熱く語られた。その中で「全国青年部代表者会議」が非常に重要な役割をしているとし、より意見交換を活発にしていきたいと提議した。

また新しいアプローチとして、業界の課題解決に向けてChatGPTを活用するアイデアも提案、さらに壁紙職人を増やすための方法として教育プログラムの導入、見習い制度、業界魅力のアピールなどを掲げた。

その後、青年部のネットワーク化をテーマにしたグループミーティングを行った。

閉会の挨拶で椎津担当副理事長は、「こうして活発に情報交換ができることはとても重要なことだと思います。また大事なことは、ここに参加できなかったブロック、組合の方々にも情報共有をしていくことです。青年部会の全国ネットワーク強化を進めることで実現したいと思っています」と語った。

なお終了後は懇親会を行い、さらなる情報交流を行った。

会議に参加した34名

北海道組合の報告

グループミーティングの様子

日リ協コラム㊼

定期的な研修・勉強がリフォームの品質をアップする

～日常業務だけでは得られない知識・技術は増えています～

11月6日にパナソニック福岡でテクニカル研修会「超薄リフォームフロアー&最新住宅建材研修会」を開催し、日リ協会員、並びに共催していただいた福岡組合の松山理事長はじめ多くの組合員様にもご参加いただきました。

日リ協の賛助会員としてパナソニックハウジングソリューションズ㈱は、これまでリモートでもリアルでも研修の題材をご提供いただいており、今回も大型トラック2台分の研修用機材・什器を北九州から運び込み、さまざまな内装建材のご説明や加工実演を4名のスタッフさんによって精力的に行っていただきました。

メインテーマは厚さ1・5ミリのフロア材「USUI-TA（ウスイータ）」の施工技術について、割り付け、切断加工、専用テープ貼付と接着剤の塗布、貼付け圧着等についての実演研修です。

そもそもクッション性のあるL-45の遮音性能フローリングをリフォームする際には、既存材を撤去・処分しなければならないのですが、このUSUI-TAはそれを行う必要がなく、既存の遮音フロアに重ねて貼ることができるもので、床暖房用のレパートリーもあります。これをリフォーム工事で採用すれば省力化が図れるばかりでなく、材料単価が上がることにともなう粗利額も増えるわけです。こうした商材の存在や技術情報を得られることは研修会参加のメリットですし、提供メーカーや集った仲間たちとの会話から自社のビジネスツールとして確立できるものです。

また研修は外出参加だけではありません。自社の中で新商品カタログやリフォーム雑誌などを題材にしてディスカッションしたり、お客様役と相談員・営業マン役との間でプレゼンや各種説明を行いながら他の社員が意見するロールプレイングでの接客研修なども大変有効です。

従前は少しの基礎知識とOJTにより実力を積み重ねてきた我々業界人ですが、多種多様なニーズや建物に完璧に対応するためにはプッシュ型での人材教育が必要でしょう。そのためには、「毎月第○の○曜日は研修の日」と定めて、まだ知らないことやスタッフの弱点などについて継続的に勉強することがお客様満足と自社の利益につながるものと思います。ついつい現場や営業の業務を優先しがちですが、会社の成長を図るならば頑張ってスタッフを成長させてはいかがでしょう。

日リ協では今後も各地の組合様とのコラボ研修を行わせていただき、さらにリモートでの手軽な研修も実施してまいります。またご希望があれば、個別に会員会社様のスタッフとのロープレ研修や、特別教育の実施なども行います。会員各社のお気軽なご相談とご用命をいただきますと共に、日装連傘下の組合員様のご入会と日リ協支援メニューのご活用をお待ち申し上げます。

福岡研修会の様子

〈組合員リフォーム事業の支援部門〉
ご登録お待ちしています！
＊登録には建設業許可並びに建築施工管理技士又は建築士免許が必須要件となっております
国土交通大臣登録「住宅リフォーム事業者団体」
お問い合わせは　事務局まで
一般社団法人 日装連リフォーム推進協議会（略称：日リ協）
https://www.nichirikyo.com
TEL：0120-970-133　FAX：03-6721-5389　E-mail：info@nichirikyo.com

最新ニュースは
『日装連ホームページ』へ
http://www.nissouren.jp

インテリア業界最新ニュース
行政機関からの指導・伝達
法律・法令
日装連からの情報伝達
日装連新聞　最新号&バックナンバー
イベントカレンダー
日装連スケジュール
日本室内装飾事業協同組合連合会（日装連）
「見える」防炎・防火のある暮らし
検索

業界情報アラカルト

「GA-3600サスティブバック」に新柄追加
住宅用の簡単リフォーム床材も発売

東リ

東リは、環境配慮型タイルカーペット「GA-3600サスティブバック」の新柄として「グレイスフィールド」を、このほど新発売した。

「GA-3600サスティブバック」は、オフィスをはじめ幅広い市場で採用されている原着ナイロンタイルカーペットで、2022年にはタイルカーペットのリサイクル材を使用したサスティブバック仕様へ環境配慮型タイルカーペット（エコマーク、エコリーフ取得）として全面リニューアルした。

今回は、新柄「グレイスフィールド」（1柄15アイテム）を追加、無地調でありながらパイルの凹凸感や糸のミックス感による上質な意匠が特長で、ニュアンスカラーのグレージュや彩度の高いアクセントカラーなど豊富なカラーラインアップを取り揃えている。

新柄追加により全9柄62アイテムの充実のラインアップとなる。

また同社では、入退去工事に最適な住宅用の簡単リフォーム床材「クラシアルタイル」を同時に新発売した。

「クラシアルタイル」は、自然由来の炭酸カルシウムを主成分とする「Solid Core層」により既存の床に重貼りができ、適度な硬さでフラットに仕上がるのが特徴の床タイル。施工時はカッターで簡単にカットすることができ、ピールアップ形接着剤で貼ることが可能である。

新柄「グレイスフィールド」

「クラシアルタイル」施工イメージ

レース付バーチカルブラインド「デュアルツイン」「ハンギングバーH-3」新発売

トーソー

トーソーは、レース付きバーチカルブラインド「デュアルツイン」、および「ハンギングバーH-3」をこのほど新発売した。

「デュアルツイン」は、ドレープルーバーの間にレースルーバーを配置した構造で、ドレープとレースが揃って回転し、ルーバーの隙間からの視線を遮るバーチカルブラインド。

「デュアルツイン」施工例

ミラー機能を有するレース専用ルーバー「リレ」を採用することで、日中外からの視線を遮りリビングで過ごす時間を快適する。ベランダや庭に簡単に出入りできる「ちょい開け」機能も特徴である。

また手軽な部屋干しなど新しい機能を提供する「ハンギングバー」には、今回収納専用の「ハンギングバーH-3」が登場、許容荷重30キロ対応で洋服の多いクローゼットでも安心して設置可能となる。棚板にも取付けられるボルト止め対応のブラケットを採用、さらにカラーラインナップにはグレーを追加するなど提案の幅が広がった。

この他、アルミブラインド「ベネアル25」には、専用二重ラダーコードで風によるスラットのバタつきを抑える「SFR仕様」が追加された。

収納専用の「ハンギングバー H-3」

ロールスクリーン、シェード対応「経木」をリニューアル

ニチベイ

ニチベイは、ロールスクリーン、ローマンシェードに対応した「経木」を選びやすいラインナップリニューアルした。

「経木」は、竹や天然木のヒゴを糸で織ったナチュラルな和風のスクリーン。今回のリニューアルでは、和モダンな空間に合わせやすい竹経木（2タイプ8アイテム）、伝統的な空間にマッチする経木（4アイテム）をラインナップした。

なお「ロールスクリーンは、「標準タイプチェーン式」、「大型手動タイプ」、「タペストリータイプ」を用意「ローマンシェード」は「標準タイプ ドラム式」を用意する。

経木仕様

「ジョイントコークM」に新色「ライトネイビー」を追加

ヤヨイ化学

ヤヨイ化学販売では、壁装用コーキング剤「ジョイントコークM」に新色「ライトネイビー」を追加発売し、カラーラインナップを21色に充実させた。

「ジョイントコークM」は、施工後の被膜にベトつきがなく、また光沢もないために塗布箇所が目立ちにくい人気のコーキング剤で、「カラーバリエーションの増加を望む声も大きい。今回は要望が多かったネイビー系の壁紙に合う、「ライトネイビー」を「ジョイントコークM」限定色として新発売した。

話談室

お気に入りに囲まれて暮らす

和歌山組合青年部部長　**松岡千秋**

私は、北欧（フィンランド、スウェーデン等）の雑貨や食器を集めることが好きです。何故かというと、そのデザインに惹かれるものを感じるからです。デザインが美しいものを見ているだけで、自分の心がときめきで満たされていくという感覚が自分の中にあります。

食事中にふと目につく食器、テレビを見ている時に目に入る雑貨、それらの美しさに1日に何度も悦びを感じる私がいます。私のお気に入りのものたちが、ふとした時に魅せる表情に私は魅了されているのです。

私は、日ごと、月ごと、季節ごとにそれらの雑貨のディスプレイを入れ替えます。その時は、雑貨の並べ方を「こうしないといけない」というルールはありません。ただ自分の感覚に従い、自分の気持ちがおもむくまま、ありたいように雑貨を並べるのです。そこに私は「自由」を感じます。私が思うように自由に何かを彩ってもいいということがまた、私に楽しみをもたらすのです。

さて、「心のままに生きる」とはよく言いますが、私自身、自分が本当に何を望んでいるのかということが分からずに生きてきました。分からないというよりは、望んでいることを探すことから目を背けて生きてきたように思います。

この人生で、本当は何をしていたいのか、本当は何に悦びを感じるのか？　ということが良くわかりません。だからここ数年はそれを探しています。自分は何をして生きていたいのか？　を考え続けています。

頭の中で考え続ければ答えがでるのか？　というとそうではありません。考えることは無意味ではありませんが、それより前に必要なのが「実際に行動する・トライする」ということです。例えば、自分が興味のあることを始めてみる、興味のある人に会いに行く、興味のないことも始めてみる。

そうすることで、自分の心が感じ取るものがあります。これは本当に興味がある、逆に全然興味がないと自分の心が私に伝えてくるのです。何かをしている時の自分の心の感覚を自分で感じていくことで、自然と自分のしたいことが判別されていくと思います。

皆さんは、今生きることに充実感を覚えているでしょうか？　この日々をどんな風に生きたいですか？　どんな人と生きていきたいですか？　何をして生きたいですか？　あなたの心が本当に望むものはなんでしょうか。「お気に入りに囲まれた暮らし」してみませんか？

北から南から

日装連単組レポート

Nov. 2024

11

北海道ブロック

北海道

☆1日　日装連インテリアデコレーター社内検定全国検定委員会議。

☆19日　日装連常任理事会・第232回理事会・全国理事長会議・講演会・懇親会開催。

☆20日　日装連次世代委員会・全国青年部代表者会議。

☆20～22日　JAPAN TEX2024。

6日　防炎業務・防火壁装講習会。講師・佐藤文隆氏。防炎業務28名、防火壁装41名が受講。

13日　防炎業務・防火壁装講習会。講師・堀江裕樹氏。防炎業務12名、防火壁装12名が受講。

同日　防炎業務・防火壁装講習会。講師・佐藤文隆氏。防炎業務179名、防火壁装173名が受講。

27日　日装連ID社内検定実技試験。1級2名、2級1名が受検。

東北ブロック

☆30日　日ID社内検定実技試験（東北ブロック）。

青森

8日　日装連監事監査会に対馬理事長が出席。

13日　青森県職業能力開発促進大会に対馬理事長が出席。

14日　対馬理事長と事務局にて事業運営打合せ。

21日　対馬理事長が日本防炎協会理事長表彰を受賞、授賞式に出席。

26日　防火壁装施工管理者講習、防炎業務講習会を開催。62名が受講・講師・對馬副理事長、其田理事。

27日　青森県建設専門工事業団体連合会第2回代表者会議に対馬理事長が出席。

岩手

13日　第6回理事会を開催。堀口理事長、上田副理事長、徳田副理事長、高橋宏紀氏、事務局が出席。

20日　防炎・防火壁装講習会開催。組合員65名が受講。講師に上田裕樹氏（㈱ウエダ）、徳田健太郎氏（㈲アスワンコーポレーション）、吉田直生氏（㈲吉田明設産業）。

宮城

13日　宮城県職業能力開発協会随時実施技能検定カーテン工事随時2級。外国人受検者1名。技能検定委員・髙橋理事長。

同日　宮城県職業能力開発協会プラスチック系床仕上げ検定台移動。作業責任者・技能検定委員備前氏。

22日　役員会を開催（書面による開催）。

秋田

19日　全国組合理事長会に中村理事長が出席。

山形

30日　日ID社内検定試験（実技試験）。検定委員・野口理事長。

福島

5日　令和6年度外国人技能検定表装（壁装作業）検定委員協力。受検者1名。検定委員・藪内秀和氏。

8日　央会ヒアリング「組合運営について」。中央会2名、名畑理事長、角田専務理事、事務局が出席。

14日　建専連全国大会に名畑理事長が出席。

21日　日本防炎協会理事長表彰式。受賞者・名畑理事長。

28日　県北支部役員会兼役員引き継ぎ会。8名が出席。

関東ブロック

☆6日　日装連関東ブロック会臨時理事長会開催（リモート）。

☆28日　日ID社内検定実技試験（関東ブロック）。

茨城

12日　日装連関東ブロック会ブロック会長引継ぎ。事務局山口氏が出席。

22日　役員会開催。白田理事長、小野瀬専務理事、事務局山口氏が出席。

栃木

7日　上田理事長及び事務局とにおいて10月の組合収支状況及びラベル発行・売上状況の確認及び打ち合わせを実施。

8日　栃木県中小企業団体中央会主催「ChatGPT入門セミナー」開催。事務局田島氏が出席。

群馬

7日　群装協第63回ゴルフコンペ開催。組合員・賛助会員、他20組77名が参加。

8～9日　群馬県中小企業団体青年協議会茨城・栃木・千葉・群馬4県交流会。久保田將嗣理事が参加。

8日　群装協三役会・11月度理事会開催。渡邊理事長他13名、事務局中川氏出席。Zoom出席・河田員外理事。

14日　令和6年度群馬県職業能力開発促進大会【表彰者】群馬県優秀技能者表彰・福島大介氏。技能士会会長表彰・倉持拓郎氏。技能検定委員・都丸繁美氏、渡邊望氏（代表登壇）、高橋陽一氏、水澤勝仁氏（欠席）。出席者・内田技能士会長。

16日　群装協青年部忘年会開催。青年部員11名が参加。

20日　ペーパーレス化に向けた組合員現状調査と今後のご協力のお願い文書送信。組合事務所内ペーパーレス化。

23日　職能開マイスター事業ポリテクセンター群馬イベント協力。マイスター・内田技能士会長、高橋副理事長、倉持副理事長、櫻井理事、マイスター補助・緑埜副会長、水澤理事、早川氏、群馬県職業能力開発協会員木氏が出席。和紙キャンドルシェード午前24名・午後24名。

29日～　群装協第42回オンライン講習会期間限定YouTube配信（12／15まで）。テーマ「ガラスフィルムの施工（巻貼り）」。＊2024年7月開催、株式会社ホシケン様の展示会にて。

埼玉

5日　防火壁装講習会防炎業務講習会。52名が受講。講師・嶋村教育資格委員長、宮澤教育資格委員。

12日　第6回理事会（ハイブリッド開催）。出席者13名。

15日　青年部第6回役員会（ハイブリッド開催）。会長、副会長、各委員会委員長が出席。

26～28日　内装材に関わる物にふれる研修会。主催・埼玉県内装仕上施工技能士会、協賛・埼玉組合。【26日】パテ材の紹介、体験、講習。参加者61名。【27日】難易度の高い壁装材の紹介、体験、講習。参加者66名。【28日】難易度の高い床材の紹介、体験、講習。参加者37名。【講師】組合・渡邊技能委員長、技能士会・山口技能士、吉田技能士、山中技能士、折原技能士、中山技能士、若林技能士、関川技能士。

27日　第31回彩の国職業能力開発促進大会～技能者表彰式～。出席者・小野瀬弘朗氏、黒澤あゆみ氏（技能検定成績優秀者）、渡邊技能委員長。

千葉

8日　令和6年度11月定例理事会開催。

13日　千葉県中小企業団体中央会。

20日　令和6年度職業能力開発関係表彰。表彰者・磯野富生氏㈱誠建産業（欠席・技能検定事業関係都道府県技能検定委員）。主催・厚生労働省中央職業能力開発協会、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構。

東京

5日　広報委員会・環境研究会合同会議を開催。安田委員長、志村副委員長、村田会長他委員3名、事務局3名合計9名が出席。

7～8日　流通研究会視察研修会開催（熊本～福岡）。酒井会長他会員5名、事務局1名、合計7名が出席。内容・TSMC新工場見学～㈱川島織物セルコン・東リ㈱福岡ショールーム見学他。

12日　工事研究会・㈱ニチベイ相模工場見学会視察。椎津理事長、原会長他会員1名、事務局1名、合計4名が出席。

13日　正・副理事長会を開催。椎津理事長、副理事長2名、事務局2名、合計5名が出席。

同日　11月定例理事会を開催。椎津理事長、副理事長2名、理事10名、事務局1名、合計14名が出席。

25日　工事研究会ランチミーティングを開催。椎津理事長、原会長他委員2名、事務局1名合計5名が出席。

三多摩

1日　活性化委員会を開催。委員3名、他1名が出席。

12日　企画委員会開催。委員3名、他1名が出席。

17日　防火壁装講習。3名が受講。

20日　理事会を開催。理事9名、監事1名が出席。

28日　活性化委員会を開催。委員3名、他1名が出席。

神奈川

5日　基礎級、随時3級技能検定内装仕上施工（プラスチック系床仕上げ工事）。外国人実技試験基礎級1名、随時3級3名。長澤理事、田子副理事長を検定委員として派遣。

8日　神奈川県中小企業団体事務局長協会通常総会に渡邊専務理事が出席。

12日　日装連関東ブロック会事務引継ぎ。渡邊専務理事が出席。

21日　住宅リフォームエキスパート（増改築相談員）研修会。資格更新講義及び考査2名。講師（認定指導員）・渡邊専務理事。

22日　令和6年度防火壁装講習会（臨時・新規）。講師・渡邊専務理事。新規取得1名が受講。

25日　事務局だよりVol・52発信。

北信越ブロック

☆19日　北信越ブロック理事長会開催。

☆27日　日ID社内検定実技試験（北信越ブロック）。

新潟

5日　建専連・第1回合同求人説明会。6社参加（当組合員3社）。

14日　情報・流通委員会に坪谷理事長が出席。

15～18日　研修旅行（台湾）。7名が参加。

富山

11日　富山県中小企業団体中央会大会。小倉理事長、川西副理事長出席。組合功労表彰・内山裕介氏。

15日　建設工業新聞取材。小倉理事長が対応。（創立50周年を迎え、建設工業新聞社より取材を受ける）。

19日　富山市技能勤労者表彰・中根慶治郎氏（付き添い出席内山支部長）。

21日　創立50周年記念誌打合せ。平岡実行委員長他6名が出席。

26日　黄綬褒章伝達式・奥哲夫氏。

28日　富山県職業能力開発協会すぐれた技能者表彰・早崎雅史氏。

石川

6日　三役会を開催。三役4名が出席。

7日　石川県建設産業功労者表彰「令和6年度優良建設功労者知事表彰」表彰式。受賞者・岩田昌成氏（I・I・INTERIOR㈱）。

13日　第4回理事会を開催。理事8名、監事1名、リモート出席1名、事務局職員が出席。

20日　ボウリング大会開催。組合員・賛助会員70名が出席。

25日　日ID検定委員・同補佐委員打ち合わせ。宮理事長・西川副理事長・髙野専務理事が出席。

山梨

6日　第43回「山梨県技能まつり」出展団体担当者会議。事務局が出席。

17日　第43回山梨県技能まつり。桜井理事長他内装仕上げ施工技能士会が出席。

23～24日　第62回技能五輪全国大会視察研修。桜井理事長他3名が出席。

27日　内装仕上げ施工技能士会ボランティア活動。場所・甲府市「和告寮」。桜井理事長他6名が出席。活動内容・廊下、居室壁クロス貼替補修等。

28日　第43回職業能力開発関係表彰式。【受賞者】全国技能士会連合会会長表彰・塩澤英洋氏、山梨県職業訓練推進功績者表彰・大野浩伸氏。

中部ブロック

☆26日　日ID社内検定実技試験（中部ブロック）。

福井

2日　カーラッピング講習会㈱丸和）。浜本理事長、渡辺専務理事、西村理事、土合理事、村下理事、西村理事、玉木監事、小林前副理事長、村下貴紀が出席。

6日　第3回三役会を開催。浜本理事長、上坂副理事長、元山副理事長、渡辺専務理事が出席。

10日　未来のお仕事フェスタ2024出展（青年部）。藤井部長、上坂副部長、加藤部員が出席。

11日　第3回定例役員会開催。浜本理事長、元山副理事長、渡辺専務理事他8名が出席。

16日　第2回全国技能グランプリ技術講習会。講師・大井康三氏、受講生・高鳥要氏。

28日　第1回総務委員会開催。上坂委員長、小松委員、浜本理事長が出席。

長野

19日　大原理事長が日装連北信越ブロック会理事長会、日装連理事会、全国組合理事長会に出席。

20日　飯島次世代委員会委員長が全国青年部・次世代代表者会議に出席。

岐阜

1日　ボランティア活動事業・児童養護施設「麦の穂学園」（カーテンの取り替え）。西尾東濃支部長他、東濃支部3名出席。

13日　岐阜県中央会岐阜県建設関連業団体部会県官公需フォーラムに虫賀理事長、江口副理事長が参加。内容「中小企業の官公需確保を目指して」。懇談会・懇親会。

20日　令和6年度職業能力開発関係厚生労働大臣表彰式。森本修氏、技能検定関係功労者表彰。

同日　岐阜刑務所受刑者に壁装講習を実施。岐阜刑務所の依頼により当組合森本氏を派遣し教示。

21日　令和6年度防炎関係者理事長表彰式。虫賀理事長が出席。

25日　出前授業打ち合わせ。荻野マイスター、虫賀理事長が出席。

28日　2024年「未来の技能者育成事業」（池田町立温知小学校体験授業）。栗田副委員長・川地委員を指導者として派遣。6年生が職業講話、制作実演、体験活動後、ものづくりマイスターと交流。

静岡

13日　3M相模原工場カスタマーテクニカルセンター見学会実施。鷹尾理事長他21名、事務局縣氏が参加。

14日　日装連情報・流通委員会に席鷹尾理事長が出席。

20日　静岡県中小企業団体中央会県大会に山本副理事長、事務局縣氏が出席。

22日　2024年度組合会計システム導入及び、組合業務に合わせて、会計士と仕様変更を実施した事に対する「支援強化事業」に認定頂く打合せを実施。中央会佐野氏、事務局縣氏が出席。＊28日に補助金事業の認定が承認された旨の連絡を受ける。

愛知

1日　次世代委員会ボウリング大会を開催。39名が参加。

5日　第393回理事会を開催。

同日　愛装協内装士会役員会開催。

6日　職長・安全衛生責任者教育（能力向上）。講師・林達雄氏（ハヤシ労務管理事務所代表者）。新規受講者を対象に実施。8名受講。

7日　愛知県中小企業団体中央会正副会長会に鈴木理事長が出席。

同日　愛知県中小企業団体中央会県大会決議実現促進委員会に鈴木理事長が出席。

14日　日装連情報流通委員会に鈴木理事長が出席。

20日　消防庁長官表彰・功労者。鈴木理事長が受賞。

20日、21日　愛装協内装士会・次世代委員会合同見学研修実施（山形県見学研修）。天童木工及び山形段通の見学。内装士会・次世代委員会計13名が出席。

23日　愛装協技能士会総括会議。17名が出席。

28日　ID社内検定実技試験採点会議。検定委員3名に内装士役員1名及び事務局1名の5名にて採点会議を実施。

三重

21日　防火壁装・防炎業務講習会。

8日　日装連会計監査。中山理事長出席。

10日　ボランティア施設改修工事。理事、組合員計9名が参加。場所・滋賀県彦根こども家庭相談センター。（写真別掲）

近畿ブロック

☆12～13日　近畿ブロック会議。

☆28日　日ID社内検定実技試験（近畿ブロック）。30日採点実施。

滋賀

7日　第4回理事会を開

26日　ボランティア感謝状交付式。中山理事長、葛畑副理事長出席が出席。（写真別掲）

京都

7日　理事会を開催。理事が出席。

9日　京都ものづくりフェア2024。白石理事長、中村副理事長、奥理事、松本理事、植松理事、林理事他が出席。

26～27日　内装材に関わる物にふれる研修会（埼玉県立中央高等技術専門校）。林理事他が出席。

大阪

7日　防炎・防火壁装講習会。53名（OSK）が受講。※本年度からJCIFと合同開催。JCIF受講者9名。

14日　防炎・防火壁装講習会。65名（OSK）が受講。JCIF受講者3名。

15日　技能検定実技試験（化粧フィルム工事作業）反省会。技能検定委員、補佐員、林田専務理事、大家氏、21名出席。

21日　技能検定実技試験（プラスチック系床仕上げ工事作業）反省会。技能検定委員、補佐員、林田専務理事、大家氏、10名出席。

兵庫

8日　青年部会を開催。

同日　青年部忘年会を開催。

奈良

6日　理事会を開催。安田理事長、城野副理事長、松下副理事長、山口専務理事、山口（恵）理事、池田理事、播理事、高田理事、乾相談役理事、古川事務局が出席。

8日　若年人材育成支援事業ものづくり教室。開催場所・斑鳩南中学校。出席者・軽本マイスター、水田マイスター、上中マイスター、平井氏、古川事務局、中学2年生19名。

和歌山

5日　防炎業務講習、防火壁装施工管理者講習講習内容検討会議。浦口副理事長、松坂副理事長、谷本専務理事、小比賀理事、畑理事、福井理事が出席。

20日　令和6年度防炎業務講習、防火壁装施工管理者講習会。50名が受講。会場スタッフ（担当理事）8名、事務局が出席。

23日　和歌山県中小企業青年中央会主催「第3回ゆにフェスお仕事体験・展示会」出展。松岡青年部長他青年部5名が出席。

中国ブロック

☆9日　中国ブロック青年部意見交換会。

☆27日　日ID社内検定実技試験（中国ブロック）。

鳥取

14日　鳥取県中小企業団体中央会新会館竣工記念セミナー・祝賀会に杉内理事長が出席。

しまね

6日　県立出雲工業高等学校体験学習。青年部組合員6名が出席。受講・建築科インテリアコース13名、建築科科長1名。【コーディネートボード作製体験】コーディネートのプラン、コーディネートプランボード作製、作製したプランのプレゼン。【施工体験】モデルルームの壁紙貼替、扉の化粧シート施工。

8日　日装連中間監査。三島理事長出席（日装連監事）。

同日　県立出雲工業高等学校体験学習。青年部組合員6名が出席。受講・建築科インテリアコース13名、建築科科長1名。【コーディネートボード作製体験】コーディネートのプラン、コーディネートプランボード作製、作製したプランのプレゼン【施工体験】モデルルームの壁紙貼替、扉の化粧シート施工。

同日　青年部役員会を開催。

10日　島根県・島根県職業能力開発協会主催技能フェスティバル2024。青年部、事務局計10名参加。

15日　全国中小企業青年中央会組合青年部全国講習会。島根県中央会青年部連合会、三島会長参加。

21日　出雲市表敬訪問、工事発注、分離発注要望書提出。参加者・（出雲市側）飯塚俊之出雲市長、出雲市財政部安井部長、出雲市商工振興部角部長、出雲市商工振興部商工振興課藤井課長、出雲市財政部管財契約課福代課長、出雲市財政部管財契約課高橋課長補佐、出雲市財政部管財契約課曽田係長。（組合側）三島理事長、長岡副理事長、内田専務理事、福間理事、事務局。

25日　中国ブロックWebによる打ち合わせ。三島理事長出席。

26日　島根県中小企業団体中央会青年部連合会島根県大会。島根県中央会青年部連合会、三島会長出席。

28日　中国ブロックWebによる打ち合わせ。三島理事長出席。

岡山

12日　中央会令和6年度第3回役員会に、高田副理事長が出席。

広島

6日　ひろしま技能フェア。池田副理事長ほかスタッフ13名出席。組合ブース来場者136名、フェア全体約2000名。（青年部会）

12日、19日　広島県立府中東高等学校インテリア科体験授業。世良部会長ほか延べ20名が出席、学生延べ50名が参加。

山口

9日　日装連中国ブロック青年部意見交換会、主催県として開催。講習会「内装仕上工事前工程である～軽天下地組とボード等～の勉強」。講師・ものづくりマイスター黒田勇氏（山口組合）。

四国ブロック

☆27日　四国ブロック会開催。

徳島

1日　徳島県中小企業団体中央会理事会に織原理事長が出席。

2日　とくしま技能フェア2024。織原理事長・安永副理事長・大西顧問理事・田村専務理事が出席。

6日　壁装・防炎講習会。織原理事長他45名が出席。

9日　ものづくり体験イベント。織原理事長・大西顧問理事・田村専務理事が出席。

19日　ものづくり体験イベント。会場・大松小学校。大西顧問理事・田村専務理事他が出席。

27日　徳島県中小企業団体中央会臨時総会に織原理事長が出席。

28日　ものづくり体験イベント。会場・海部小学校。織原理事長・大西顧問理事・田村専務理事が出席。

香川

20～21日　香装協研修旅行（JAPANTEX2024、㈱サンゲツPARCS）。12名が参加。

28日　AIG損害保険、組合員向け労災保険と損害保険の団体割引等説明会。

同日　第371回理事会開催。藤井理事長他6名が出席。

29日　西讃支部会を開催。5名が出席。

愛媛

20日　職業能力開発関係表彰式。厚生労働大臣表彰技能検定功労者（受賞者）中村理事。

27日　理事会開催。須川理事長他7名が出席。

同日　愛媛県職業能力開発促進大会。技能検定関係表彰・厚生労働大臣表彰（受賞者）中村理事。

高知

6日　定例理事会開催。久保理事長他8名が出席。

12日　高装協青年部「高知工業高等学校総合デザイン科体験学習」を実施。内容・クロス施工説明等。梅原青年部長他7名が出席。

18日　壁装講習会講師消防へ挨拶。山脇教育委員長他1名が出席。

27日　定例四役会開催。忘久保理事長他3名出席。

九州ブロック

☆25日　日ID社内検定実技試験（九州ブロック）。28日採点実施。

福岡

1日　福岡県中小企業団体中央会へ月次情報連絡票（10月分）提出。

3日　叙勲受章者の発表。福岡組合前理事長の和田則雄相談役が瑞宝双光章を受章。

6日　リフォーム研修会開催（日リ協、福岡青年部、教育情報委員会共同開催）。日リ協より渡邊本部長来訪、福岡組合員19名参加。

14日　日装連情報流通委員会に村上日装連情報流通委員長が出席。

同日　福岡県職業能力開発功労者表彰式。齋藤良治理事と末次公史理事が表彰される。

15日　福岡県中小企業団体中央会青年部全国講習会（不参加）。

18日　叙勲受章者伝達式～拝謁。和田則雄相談役が瑞宝双光章受章で出席。

22日　博多法人会主催の年末調整セミナー。入口職員が出席。

26日　県議会議員ひぐち明ゴルフ大会。松山理事長、宮崎副理事長、廣瀬理事、平田専務理事が参加。

佐賀

6日　理事長・事務局打合せ。

8日　中央会と中村副理事長・事務局打合せ。

11日　臨時役員会開催。

22日　防火壁装・防炎業務講習会開催。

29日　第5回理事会開催。

長崎

5日　中央会青年部第5回幹事会。小室会長が出席。

12日　令和6年長崎県建設工事従事者安全・健康確保推進会議に末次副理事が出席。

同日　令和6年元請・下請適正階化対策連絡会議に末次副理事が出席。

15日　2024年度全国中小企業青年中央会組合青年部全国講習会に小室会長が出席。

25日　中央会主催電子帳簿保存セミナーに事務局が出席。

29日　第4回理事会を開催。7名が出席。

熊本

6日　理事会を開催。理事10名出席。

11日　建設専門工事業部会団体長会議に丹波理事長出席。

12日　熊本県技能士会連合会理事会に中野相談役出席。

14日　熊本県みらいの技能士育成事業出前講座。場所・熊本県立熊本工業高校インテリア科。内容・インテリア業界全般に関する座学、化粧フィルム施工見学。化粧フィルム施工体験。熊装協より8名が参加（写真別掲）。

15日　熊本県職業能力開発協会促進大会。中野相談役・丹波理事長出席。

26日　防火壁装講習会・防炎業務講習会講師打ち合わせ。濵口講師、鶴田講師出席。

29日　防火壁装講習会・防炎業務講習会。74名が受講。

大分

1日　ホームページ更新。

4日　第32回県室協親睦ゴルフコンペ開催。20名が参加。

22日　理事長・事務局長業務打合せ。

28日　会計システム業務打合せ。税理士法人大分綜合会計事務所担当者、事務局長が出席。

宮崎

6日　創立50周年記念事業会場打ち合わせ。前畑理事長他3名が出席

19日　通帳残高及び帳簿残高の照合確認（10月分）。秦監事が出席。

21日　県中小企業団体中央会第4回理事会。松本青年部会長が出席。

26日　創立50周年事業実行委員会。役員14名が出席。

27日　令和6年度新年会の案内文書送付。

鹿児島

8日　鹿児島市技能職種別団体連絡協議会総会。田中理事長が出席。

同日　鹿児島市青年優秀技能者表彰式。表彰者2名、田中理事長他が出席。技能功労者受賞者雅インテリア竹ノ脇雅人氏。優秀青年部技能者受賞者㈱つきの坂上文哉氏。

沖縄ブロック

沖縄

19日　日装連全国理事長会に仲島進功理事長が出席。

同日　技能まつり準備作業。昭和室内装備㈱が参加。

9～10日　技能まつり。溝添技能委員長他技能者・理事が参加。技能体験教室を開き、約96名の方に、塩ビタックシートをつかって貯金箱装飾に挑戦させた。タイルカーペット販売。（写真別掲）

12日　技能まつり懇親会。溝添技能委員長が出席。

26日　三役・ルノン㈱講習会についての話合い。田中理事長・迫田副理事長・園田専務理事・ルノン㈱荻野所長が出席。議題・ガラスフィルム講習会について。

滋賀組合ボランティア活動・ボランティア感謝状交付

熊本組合みらいの技能士育成事業出前講座

鹿児島組合技能祭り参加の様子

最前線探訪 93

新理事長編

福岡組合

最前線探訪では、11月号より令和6年度に新理事長が就任した組合を訪問する「新理事長編」を連載中である。初回の佐賀組合に続いて、今号では松山哲也理事長（㈱アイ・インテリア）が就任した福岡組合にご登場いただいた。

福岡組合は九州ブロックの要として各種事業や青年部のブロック活動の取りまとめなどを行う他、松山理事長自身も新任ながら日装連・理事に就任、先般の日装連理事会では壁紙メーカーへの上代価格改定に関する要望を議題として提出するなど内装業界の課題解決に向けて意欲を示されている。今回は松山理事長に価格改定の要望をはじめ、組合が果たすべき役割、今後の福岡組合が目指すべきことなどを伺った。

松山理事長

組合員に聞き取り調査を実施 壁紙の上代価格改定に取り組む

「今回、理事長に就任するにあたり、理事メンバーを中心に組合員を個別に訪問し、組合に何を求めているのか、あるいは商売上の課題は何かということを聞いてまわりました。そうした生の声を聞くことで、組合としてすべき施策を考えるべきだと思ったからです。その中でもっとも関心が高かったのが壁紙の価格改定についてでした。これを組合として取り上げることで改善できないかということで、先般の日装連の理事会に提案しました」と語る松山理事長。

インテリア・内装業界では2021年9月から製品価格の値上げがはじまり、ちょうど今月1日には第4次の値上げが実施された。その間、各メーカーは一度に10%前後の価格改定を実施、計4回でかなりの価格がアップされている。

その中で、カーテンや床材などの価格改定は基本的に上代価格の改定が行われたこともあり、元請け業者に対する価格転嫁は比較的やりやすい状況だったが、壁紙については商品名に「1000」と定価の数字が入っていることもあり、上代価格は据え置かれて仕入れ価格が改定される状態にあった。そのため元請け業者に対する価格転嫁が進まず、厳しい状況に陥る内装仕上業者が多いのが実情だ。

「価格転嫁が進まずに苦しんでいる組合員がたくさんいることを聞き取り調査で改めて知ることになりました。個別にメーカー各社にお願いしたとしてもなかなか要望は通らないでしょう。こういったときこそしっかりと交渉するのが組合の役割ではないでしょうか」

日装連九州ブロック理事長会・九州ブロック青年部連絡協議会合同開催

パナソニック福岡でのテクニカル研修会

日装連インテリアデコレーター社内検定実技試験の模様

そこで松山理事長は、福岡組合としてだけでなく日装連の理事会でも提案し「日装連」というより大きな組織での対応を依頼した。

ちなみに、日装連では松山理事長の要望を受けて関連団体と連携してメーカー各社への申し入れを準備している。

目的は技能者の収益確保 処遇改善し若者の入職進めたい

「しっかりと価格転嫁を進めることで収益を確保し、それによって技能者の施工単価をあげたいというのが一番重要に思っていることです。近年、建設業の働き方改革ということが盛んに言われていますが、逆に時間外労働規制も含めて働く時間に制限ができてしまい、収入が減少するという事態も発生しています。時間制限があるなら施工単価を上げるしかない、そのためにも上代価格の改定を実現したいですね」

その観点から松山理事長は、一般財団法人経済調査会が発行する季刊誌「建築施工単価」に注目している。

同誌では壁紙施工の実勢単価についても記されているが、他の業種ではこの数年で1・5～2倍程度上昇しているにも関わらず、壁紙施工はほぼ変わっていない状況にある。

「これでは若い人が内装業界を選んでくれるはずがありません。こうした状況を変えていくことも組合の役割だと思います。組合として元請け業界へ交渉していくとともに、組合員に対しても技能者への処遇改善の努力をお願いしていくつもりです」

この他、組合員の要望として多かった、リフォームへの取り組み支援にも取り組むという松山理事長。

「都市部は一つのことを専門的にやっていても商売は成り立ちますが、地方はよろずやではありませんが、何でもやらなくては生き残れません。その中で一般ユーザーから直接受注するリフォームは大きな可能性があります。ただし、それには提案力が不可欠です。そうしたスキルを得られる支援を組合として計画しています」

例えば、リフォーム提案に有効なCADの使い方を学べる講習会など青年部と協力しながら営業支援策を計画中とのことだ。

「これまで組合は技能検定、技能講習などどちらかといえば技能向上をメインとした事業を行ってきましたが、これから営業支援にも注力し、両輪で回していくことが求められるでしょう」

ラベルの電子申請化を推進 組合組織を活用し業界活性化図る

もう一つ、松山理事長が推進するのが防火壁装ラベルの電子申請化である。

「村上前理事長のもとでスタートした電子申請化の取り組みを引き継ぎ、本格運用をはじめます。これによりラベル申請がスムーズになり、組合運営も効率化することができると期待しています」

これは日本壁装協会が提供するシステムを活用したもので、すでに一社の組合員で一年間にわたりテスト運用を行い良好だったことから、さらに今年10月より約10社で先行運用をスタートした。今後順次全組合員に広めていくという。

一方、課題は防炎ラベルの電子申請で、公的に提供されるシステムがない中で、福岡組合としてオリジナルの申請フォームをつくるのか検討中とのことだ。

「防炎ラベルについては、ぜひ日装連として共通の申請システムを構築していただきたいと考えています。こういう依頼も、組織として申し入れをすることで変わっていくのだと思います」

「自分の会社であれば自分次第なのですが、それを内装業界全体で取り組まなければ業界が良くなりません。そのために組合があるのだと思っています」と語る松山理事長。理事長として組合という組織を存分に活用しつつ、内装業界の活性化を目指していくとのことであった。